

# 令和6年度 まちづくり懇談会 会場アンケート 累計

## 会場別参加者数の推移

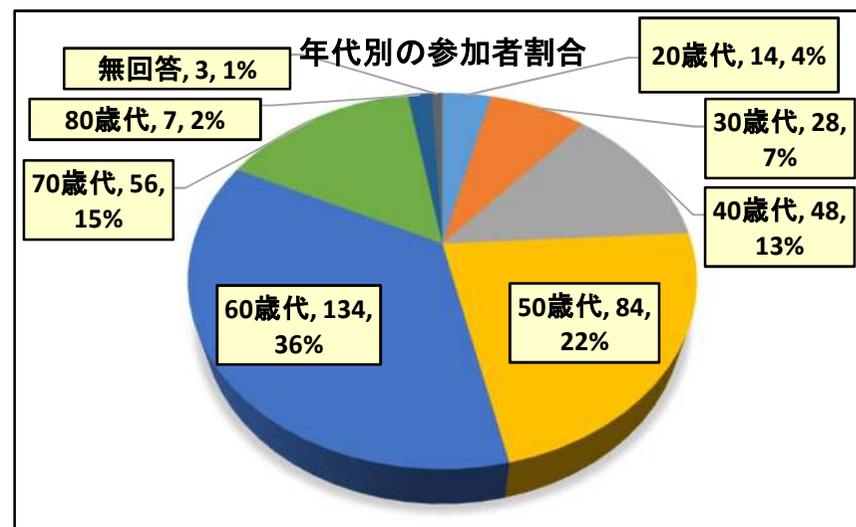
地区	ちの	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩	その他	全地区	合計
R2(人)	41	51	42	35	48	40	57	44	48	34		24	440
R3参加市民(人)	27	19	31	21	26	24	26	28	27	22		10	251
R4参加市民(人)	37	38	28	24	40	25	26	24	32	24		5	298
R5参加市民(人)	38	40	28	29	43	25	52	33	48	29			365
R6参加市民(人)	40	42	23	26	51	76	59	33	41	54			445
R6アンケート回収(枚)	47	37	15	26	39	54	46	27	38	37	8		374
開催日	10/1	10/3	10/4	10/8	10/15	10/21	10/22	10/28	10/29	11/5			全10回

## 1 性別

	累計	
男性	315	84.2%
女性	55	14.7%
その他	0	0.0%
無回答	4	1.1%
合計	374	100.0%

## 2 年代

	累計	
20歳代	14	3.7%
30歳代	28	7.5%
40歳代	48	12.8%
50歳代	84	22.5%
60歳代	134	35.8%
70歳代	56	15.0%
80歳代	7	1.9%
その他	0	0.0%
無回答	3	0.8%
合計	374	100.0%



## 3 お住まいの地区

	累計	
ちの	47	12.6%
宮川	37	9.9%
米沢	15	4.0%
豊平	26	7.0%
玉川	39	10.4%
泉野	54	14.4%
金沢	46	12.3%
湖東	27	7.2%
北山	38	10.2%
中大塩	37	9.9%
その他	8	2.1%
無回答	0	0.0%
合計	374	100.0%

## 4 区・自治会への加入状況

	累計	
加入している	354	94.7%
加入していない	18	4.8%
無回答	2	0.5%
合計	374	100.0%

## 5 過去5年間のまちづくり懇談会の参加状況

	累計	
① 今回が初めて	139	37.2%
② 2~4回	170	45.5%
③ 5回	63	16.8%
無回答	2	0.5%
合計	374	100.0%

6 あなたがお住いの地域について、課題だと思えることは何ですか。(複数選択可) ※上位3項目は色付けしてあります。

	ちの		宮川		米沢		豊平		玉川		泉野	
	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合
①医療・福祉	7	5.4%	5	4.7%	5	9.8%	6	8.2%	3	2.6%	9	4.7%
②子育て・教育	4	3.1%	13	12.3%	4	7.8%	4	5.5%	9	7.8%	30	15.6%
③ゴミ収集・環境	25	19.2%	11	10.4%	2	3.9%	4	5.5%	3	2.6%	3	1.6%
④空家・土地利用	13	10.0%	10	9.4%	5	9.8%	5	6.8%	13	11.2%	32	16.7%
⑤農林商工観光業	0	0.0%	3	2.8%	2	3.9%	2	2.7%	2	1.7%	8	4.2%
⑥公共交通・道路	6	4.6%	5	4.7%	5	9.8%	6	8.2%	9	7.8%	15	7.8%
⑦区・自治会等の役職	27	20.8%	17	16.0%	6	11.8%	9	12.3%	18	15.5%	18	9.4%
⑧人口減少・少子高齢化	20	15.4%	16	15.1%	7	13.7%	13	17.8%	17	14.7%	43	22.4%
⑨防災・消防	8	6.2%	16	15.1%	7	13.7%	11	15.1%	10	8.6%	13	6.8%
⑩入区・移住者の受入	15	11.5%	5	4.7%	6	11.8%	6	8.2%	23	19.8%	16	8.3%
⑪デジタル化	2	1.5%	2	1.9%	1	2.0%	6	8.2%	8	6.9%	2	1.0%
⑫その他	3	2.3%	3	2.8%	1	2.0%	1	1.4%	1	0.9%	3	1.6%
その他の内容	害虫(アゲハ)、スポーツ公園の桜、田畑、用水路、河川整備		学校再編、小学校建替え、外国人(未入区者)の防災対応		学校給食(無償化、地元野菜の安全な野菜の提供)		区・自治会のあり方		未入区、退区の増加		小学校コミュニティの今後のあり方、学校再編、出不足金	
合計	130	100.0%	106	100.0%	51	100.0%	73	100.0%	116	100.0%	192	100.0%

	金沢		湖東		北山		中大塩		その他		市全体	
	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	地区内の割合	累計	割合
①医療・福祉	9	5.9%	4	4.9%	8	6.1%	4	3.9%	0	0.0%	60	5.2%
②子育て・教育	28	18.3%	8	9.8%	15	11.4%	7	6.9%	6	31.6%	128	11.1%
③ゴミ収集・環境	1	0.7%	5	6.1%	2	1.5%	5	4.9%	0	0.0%	61	5.3%
④空家・土地利用	23	15.0%	10	12.2%	14	10.6%	6	5.9%	3	15.8%	134	11.6%
⑤農林商工観光業	8	5.2%	2	2.4%	3	2.3%	1	1.0%	0	0.0%	31	2.7%
⑥公共交通・道路	10	6.5%	9	11.0%	17	12.9%	13	12.7%	0	0.0%	95	8.2%
⑦区・自治会等の役職	17	11.1%	8	9.8%	25	18.9%	23	22.5%	3	15.8%	171	14.8%
⑧人口減少・少子高齢化	33	21.6%	19	23.2%	27	20.5%	21	20.6%	5	26.3%	221	19.1%
⑨防災・消防	11	7.2%	9	11.0%	11	8.3%	12	11.8%	0	0.0%	108	9.3%
⑩入区・移住者の受入	10	6.5%	6	7.3%	7	5.3%	6	5.9%	1	5.3%	101	8.7%
⑪デジタル化	3	2.0%	2	2.4%	1	0.8%	2	2.0%	1	5.3%	30	2.6%
⑫その他	0	0.0%	0	0.0%	2	1.5%	2	2.0%	0	0.0%	16	1.4%
その他の内容					学校の統廃合、財政		入区しない、退区者問題					
合計	153	100.0%	82	100.0%	132	100.0%	102	100.0%	19	100.0%	1,156	100.0%

## 7 日々の暮らしの中で、心配ごとがありましたらご記入ください。

### 福祉・生活

- ・1年先の暮らし
- ・増税や物価高で生活が厳しい。
- ・生活
- ・健康
- ・施設料(温泉施設、プール等)市民市外一律値上げとなれば、日々健康の為に通う高齢者の健康維持も不可能になるかもしれません。(年金だけでは通うのが厳しくなるのでは)土日祝価格やハイシーズン価格で市民市外分けても、都会の方からしたら安いと感じる価格だと思います。是非、市民にやさしい茅野市でありますように。移住も増かも。一律値上げは反対です。6市町村と以外はどうか。日々通う市民と県外や旅行スキーなど観光でくる方の価格が一緒では日々通っている市民は辛いです。
- ・独居でも障害でも民生が年にたった一度か二度玄関先で一言声をかけてゆく。それで見守っていると云えるのだろうか。
- ・例えば、行政がコロナワクチンの安全性にほぼ無頓着なところ。厚労省発表による薬害救済事例は、認定された死亡数だけでも2000件を越えている。コロナワクチン接種が始まった、この3年だけで。その他のワクチン接種の過去約40年の同認定死亡数は数百件程度。この事実だけでも、本来、接種を中止または中断して調査すべきレベル。少なくとも市町村は、危険性を前面に情報発信し、正しく、欠損のない情報を元に住民が選択できる情報環境を作るべき。例えば、大阪の泉大津市のように。
- ・市の中心部より離れている土地柄なので、緊急車両(救急車)が必要となった場合や買い物難民問題、冬期の大雪による通行止めになってしまったときの陸の孤島感。
- ・物価が高くなり、年金だけの収入では大変苦しい生活、若い人達が将来の希望、夢が持てる社会、茅野市になれたらと願うばかりです。
- ・サンコーポラス旭ヶ丘の畳を各戸交換して欲しい。
- ・お店やガソリンスタンドが無い。
- ・今の過疎化が止まらない状況で、子育てをしても、いずれ自分の子供も出て行ってしまいうと思う。若者が魅力あるまちづくりをしてもらいたい。
- ・地区の人口の割には近在に医者が居ない(内科系)
- ・物価高がどこまで伸びるか心配
- ・強盗、空き巣対策

### 環境・農林・商工

- ・上川ゴミ問題
- ・ゴミの不法投棄が減らないで困ります。
- ・野良仕事の草焼き(枯草)の件で質問をしました。環境の件で新居を構える方に農家の状況を知らしめる事も必要ではないかと考えます。
- ・個人林の管理の先が見えない。自然エネルギー、再エネにしたいが、具体的にどこから手をつけたら良いかわからない。農業人口の高齢化。自然環境の変化(虫がいない、スズメがいない、魚がいない、虫がいない)
- ・かけがえのない財産である農地にどんどん家が建っていき集落内に空き家が増えている。
- ・子供が将来大きくなったときに地元の茅野市やその近くで暮らすことが出来るのか?暮らしていくには仕事をする際の選択肢が多くないといけないのではないかと思います。
- ・全ての職において人手不足の状況。大学へ行っても帰って来たいと思う魅力ある地域にしていけるにはいかにあるべきか。
- ・農地の営い手不足
- ・空農地(田、畑)が目立つ、子供が相続しても地元に住んでいなかったり、仕事があったりで農業をやらない。
- ・次世代の方が働く場が欲しい。(企業誘致等の促進)
- ・当区では田畑を有していない区民からも堰の費用を徴収しているが、入区していない人からは徴収できていません。市政の公平性から考えてどうなのでしょう?という問い合わせが最近多いです。市政としてはどのようにお考えでしょうか。区内では雨水を水路に流している、火災時には水路の水を使うでしょうとこれまで説得してきましたがどうなのでしょう?雨水も含めた水路整備、火災時の水利確保等は市行政の役務と考えられます。難しい問題ですが、田畑を有する区民が減少している現在、区で費用徴収することはかなり難しくなっています。
- ・農地管理、山林・林野管理(財産区・林協等)

## 防災

- ・公民館のデジタル無線(防災)の不具合
- ・国道以外に抜け道がない。災害、緊急時に危ない。
- ・12時と18時の市のチャイムが防災無線に入らないようにしてほしい。
- ・区や自治体に、災害時の十分な備えができていないのでは(水、非常食など)
- ・災害が起きた時の対応が不安
- ・大地震の際の対応

## 公共交通・道路・公園

- ・区外より通勤目的の通り抜けの車両が多くなり、朝晩と特に交通事故等のトラブルが発生しないか心配である。(団地内生活道路において、団地内徐行となっているが、かなりのスピードを出している現状がある)
- ・歩道の確保など通学路の安全面。高齢の母がまだ車を運転している事が心配です。
- ・小学生の通学路、中河原で下河原から来る県道に横断歩道が欲しい。
- ・通学路の水はねが多い(穴ボコ、破損等)
- ・高齢者移動方法や買物への移動方法がなくて心配しています。いずれ自分もと思います。
- ・のらぎあを土日でも運行していただければありがたいです。
- ・公共交通機関の変更と定着がスムーズにいくのかどうか？
- ・いずれ車を(免許を)失った時、買い物、病院通い等、オンデマンドのらぎあはあるものの使い勝手等の面で大丈夫かな？と思っています。
- ・高齢になった時の移動について
- ・公共交通の不便さがある。
- ・河川の周りの草刈の負担が多い。
- ・高齢化が進み、交通事情が整っていないこと。
- ・公共交通
- ・高齢者の生活に欠かせない交通手段のあり方について。免許返納について。公民館がなく子供活動に支障がある。のらぎあの予約の仕方を改善して欲しい。
- ・バスの本数が少ない。予算の関係で本数が少ないのであれば、朝と夕にして欲しい。中途半端な時間にバスを走らせるのはおかしい。
- ・現状より「のらぎあ」の対応
- ・車の運転が出来なくなった時の足
- ・駅までの交通手段が難しい(便数とか手続きとか)
- ・のらぎあを、北山奥までお願いしたい。
- ・車を持っておらず自転車通勤をしていますが、冬が来ると凍結で自転車が使えなくなり、通勤手段がなくなることを懸念しています。バスに頼ろうと思っていますが本数が少なく、のらぎあは予約が取れないうえ運行時間が短いのが心配です。
- ・金沢から茅野市中心街への公共交通の不便さがあり、高齢者への負担低減出来るように考えて頂きたい。
- ・年を取り働けなくなったり、移動手段が無くなった時に生活できるか？
- ・本町の道路新設の反対者との話し合いは？朝の通勤に時間がかかる。
- ・県道・市道の道路土手の草刈り等環境維持
- ・北公園トイレ、南公園・丁田公園 街灯の増加、池のある公園

## 空家・土地

- ・家の周りに空家が沢山あります。若い人が来たくても、売ってもらえないそうです。市として何か、どんな対策をしているのか分かりません。
- ・空家の増加、防犯・防災等
- ・耕作放棄地、管理者不明の土地の草刈、整備に困っている。
- ・空家問題
- ・使用しなくなった農地の管理
- ・空家の独居老人宅の敷地内に有る大径木が心配です。伐採をして欲しいと思いますが、手段が難しいと思います。
- ・空家対策
- ・空家があるのに林を切って新築が増えている。空き家バンク頑張ってください。期待しています。
- ・空き家の増加と所有者のメンテ不足が目立つ
- ・空き家の見守り
- ・空き家への空き巣、空き家の雑草や伸び続ける木、空き家の動物の住処、放棄地の雑草

## 区・消防団

- ・商店などの減少や人口の減少などから、賑わいはなくなってきて、区行政からのサービスも縮小気味です。このままでは区の安定した事業を続けていけるか不安である。
- ・役員のなり手不足
- ・共有地の草刈、毛虫の対処に人員が集められない
- ・区長の選任に苦慮している。
- ・来年度から県営住宅が順次できてくるので、区・市営・県営のつながりが心配。
- ・入区する人が少ない。高齢者が多い。
- ・環境自治会の850円
- ・入区者減少(役職の立場として)
- ・退区者、未入区者が増えて、入区している者の負担が増加していく。市としてどう考えているのか。
- ・未入区者の問題。意識の違いがあるなか、どう模索していくのか。
- ・区の役をやれる人がいなくなってきている。民生委員を受けて担当している方も年配であり、逆の心配もある。降雪時の雪かきも年配の方々にやってもらうのも忍びない。市で担当建設業者を決めてもらいたい。
- ・区の役員のなり手、消防団員など若い人の数が少なく確保が大変。
- ・入区のお誘いをしても来ない。
- ・消防団員の確保が難しい。
- ・自治会の中に入っていない人がよくわからない。何人いるのか？など
- ・区の人口減少
- ・村役のなり手不足
- ・高齢化が進み区の役に割り当てる人がいなくなる。
- ・移住者は増えているが、区・自治会の作業(草刈等)に参加する人が年々少なくなっている。
- ・外国人が多くなり、ゴミステーションの看板がその外国人に適しているのか。
- ・地区、区の役が多すぎて、退区する世帯が増えていること。
- ・人手はあるのに成り手がいないこと。入区していない方への対応。
- ・未入区世帯への対応を各区に丸投げされているような気がします。市としてどうしたいのかを知りたい
- ・区の役職負担が重く成り手が少なくなって来ている。又後継者が少ない。古い考えの高齢者が多く、区の改革が進まない。
- ・年々区を抜ける方が増えてきているため、役が回ってくるのが早くて大変。
- ・地区の役職、出払い等区の出役の多さ、高齢者の補助、区の会計業務、区政の執行
- ・区民の減少等に若者の区外流出
- ・消防団入団者の減少
- ・地区役員の成り手がいない
- ・ペーパーレス化(会議でペーパー、回覧多すぎ)

## 学校・子育て

- ・子育てと家事と仕事を全てやっていくことが大変で不安です。
- ・子ども達の通学路の見守りをする大人が少ない。高齢者の方に手伝ってもらえれば、町が明るくなると思います。
- ・泉野小残してください。
- ・学校の合併について泉野はこれからどうなりますか
- ・通学区の見直しが必要だと思います。小学校に対しての心配があります。
- ・学校や保育園が今後どうなるのか心配。
- ・小学校のことを深く考えていただきたい。
- ・小学校の統廃合問題
- ・小学校の再編
- ・子ども達の学び(小中学校)が心配。地域の小中学生が登校できない子供が多い。親も心配。
- ・子どもの教育環境について
- ・小学校の通学区域が3つに別れていること(米沢小、豊平小、湖東小)

## 人口減少・少子高齢化

- ・老後が心配
- ・高齢者の外出の機会(交通機関)や、サポート体制について、不安があります。
- ・年寄りがいづまでも口を出す環境はどうにかならないか。代替わり出来ないまたは「衰退する一方と考えます。
- ・人口減少に伴う入区世帯の減少。これにより区役員の担い手不足。人口比率に応じた補助金交付率の設定。補助金活用時の事務手続きの簡略化。
- ・身近な未婚者が多い→少子化
- ・老後の生活、定年後の生活
- ・高齢者一人暮らしが増えている。今後もさらに増えていく、市の対応を考える時期である。
- ・80歳過ぎの一人暮らしが増えている。不安である。
- ・少子化による人口減少と高齢者が多くなり、労働力が少なくなっていく事が心配です。
- ・地区人口減少による公共施設の廃止
- ・高齢化に対する対策がなされていない、買い物難民、通院難民となっている。現実には不安を感じる。
- ・人口減少対策×3
- ・少子高齢化×2
- ・少子化、若い人が離れ、何れ限界集落になってしまう。区の役員など若い人への負担が多くなってきてしまう。
- ・ひとり暮らしの人の増加、安否確認が出来るようなシステムを構築して欲しい。
- ・少子化で地域の行事や催事の存続が厳しくなりつつある。
- ・新興住宅地の宿命の高齢化が課題です。
- ・少子高齢化による地区自治会の崩壊
- ・独居高齢者
- ・少子化からくる色々な身近な問題。政府が向かう方向からくる将来への不安
- ・毎年入区している住民が減っていく。新しい若い方の移住が無い、少子高齢化が著しい。崩壊地域になりつつある。
- ・少子化→小学校再編の前にやるべきことがあると思います。
- ・人口減少、高齢化、フレイル予防
- ・独居老人の対応

## 行財政・議会

- ・公共施設の閉鎖、縮小につき茅野市民が利用できる場が減少。元気のなさ、未来への不安がある。子育ての不安が市の状況の悪化につながっていると感じる。
- ・地域の中長期的な成長
- ・先日、大学の先生が市政の情報開示が茅野市は少ないと言っていました、その通りだと思います。今後は情報開示をお願いしたいと思います。
- ・茅野市の展望を具体的(タイムスケジュール含む)に話し合いをしたいと思います。
- ・プールやスケート場の閉鎖、小学校の統廃合検討等財政や人口動態からは已む無しかと思いますが、早めに住民に危機感を持って自分事として考える機会を頂いているのはありがたい事だと思いますが、子供達にとっては楽しみがなくなり、後ろ向きな気持ちになりかねないため、ますます将来茅野市から離れるきっかけになってしまうのではと感じます。限られた予算だとは思いますが、是非子供達が前向きな気持ちになれるような施策にも取り組んで頂き、子供達にアピールして頂ければと思います。たとえば、オンライン医療相談は必要な世帯にとっては素晴らしい取り組みだとは思いますが、どちらかという親御さん向けにはプラスな取り組みかと思いますが子供達にとってはなかなか自分たちにプラスとは捉えにくいかなと感じます。
- ・茅野市の赤字財政 明るくない未来 多すぎる市議会議員半分でOK 市議会議員の給料カット 政務活動費ゼロ 茅野市を良くするなら無給で働いて欲しい。
- ・茅野市の財政問題、3年間で貯金がゼロになったら、市民の生活にどういう問題がでてくるのか。

## その他

- ・女性の役職
- ・呼ばれて来た人が多くを占めている。さらにその中のほとんどが男性という印象です。これでは若い方や女性は参加しにくい。参加しても発言しにくい。呼ぶ人は必要最小限にし、フリーで参加する人が9割以上になるような構成にならないと本当の懇談会にならない、形だけのものになると思います。
- ・日々の暮らしの中では、特に心配なことはありません。とても良い所に住んでいると思います。

## 8 市政に関して、もっと詳しく知りたいことがありましたらご記入ください。

### デジタル

- ・デジタル田園健康特区になっているが、子供の教育でのデジタル技術の修得や農業のデジタル化の強化などは考えているのか？
- ・提出書類の電子化、デジタル化
- ・DX化の進み具合はどうなっているのか。
- ・デジタル田園健康特区とは何か？
- ・デジタル特区？

### インフラ・防災

- ・のらぎあ完成形
- ・インフラの統廃合の指針、基準。財政視点ではなく全体的な考え方。
- ・具体的なインフラ問題。災害の種類は多くなってきている。どれも起きてからでは遅い。
- ・公共交通、のらぎあ今後の発展のさせ方・拡大について
- ・防災について、市と各地区とが万が一の際どのように動くのか、誰がどのように何をするのかと  
いったものが見えづらいので、チャートの様な形でよいので、示していただけるとありがたい。

### 商工・観光・農林・空家土地

- ・企業の誘致。ゆとりある生活の為に収入を上げるために、モデル事業をやって欲しい。
- ・人口増につながる企業誘致にもっと努力して欲しい。売れる観光を作り出して欲しい。(自然他  
有るはず)
- ・農業を担う女性を評価する仕組みの構築。
- ・大規模農業の推進と共に小規模、家庭菜園の活動を農業の両輪となるよう、広い農業地域である  
茅野市の長所として長期計画を作って欲しい。今のままだと自然環境を保護する役割も失われ  
てしまう。若者・移住者は農業をやりたいと願っている。
- ・農地保全について、農業推進をしていないのではないか。
- ・空き家バンクの活用
- ・空き家対策、所有者不明土地の整備

### 区

- ・区にあまり仕事を振らないでほしい。
- ・自治会の範囲が広すぎるため、別荘エリアとそれ以外に分けた方が良くないと感じます。万が一  
の防災にしても清掃等日常業務にしても別荘エリアは機能していないように感じます。まち懇で  
モデル自治会で効率化等の実証実験をしていることは分かりましたが、それ以外で区・自治会の  
再編や最適化について取り組んでいることがあれば教えて下さい。
- ・区長をしていますが、DX推進と言われていても、モデル区以外の市民はどの様に進めていてど  
のような形態に変わるのか全く見えないので進捗状況でもよいので発信して欲しいです。

### 学校・子育て・人口減少

- ・小学校
- ・小学校再編の方針
- ・学校区再編せず小規模校で校舎の建替えをした場合の、シミュレーション結果を公開して欲しい。  
例えば、区民館やコミュニティセンターレベルのサイズで残す場合。
- ・今後10年位の間には市内小学校の建設時期になるようですが、建て替えてない方法(耐震対策など)  
も考えているか？なども知りたいです。
- ・小学校の統廃合に関してのタイムスケジュール(ロードMAP)
- ・小学校統廃合問題についての今後の市の方針
- ・ゼロベースとのことだが、市としての案(方向)は示した方が話し合いが深まるのではないか。
- ・学びに関するプランにぜひ子育てしている母や学びに関わる方たちも入れて欲しいです。
- ・子育て支援の内容
- ・学校の統合
- ・人口減少、少子化、高齢化の今後の取り組み方について
- ・人をどう増やす活動をしていくのか？市の成長戦略は。
- ・人口減少に対して対策をしているのでしょうか。特に泉野に対して。
- ・市民減

## 財政

- ・財政の不透明さに疑問。永明小中建築にお金をかけすぎ。市税の使い道に偏りがありすぎ。
- ・財政難が課題だが、詳細な予定を開示して欲しい。
- ・財政が厳しい状況は理解するが財政改革は痛みを伴うもので、丁寧な説明をお願いします。
- ・財政難とのことですが、なぜ今になってですか。それがあなたたちの仕事では、あなたたちの責任を市民に押し付けないでください。
- ・財政状況を含めた市政の質問と対話の機会(市民との)
- ・財政における財源の情報
- ・市が赤字に転落し、予算が組めなくなると、「立ちゆかなくなる」とは、具体的にどういうことなのか示して欲しい。例えばで良く、可能性の話で良いので、赤字になると、このサービスは削るかもとか、壊れた道路は数年直せなくなるとか、の事例です。それがないと、学校の再編などは、検討出来ない。この学校無くす代わりにこのサービスが残る、逆に、このサービス残すからこの学校は無くすなど、残酷ですが、それは具体的に捉えて考えるべき。将来、茅野市民は何が残れば幸せなのかを考えるために。
- ・数年前、企業誘致に成功して、税収も上がってあるはずだと思っているが、プールがなくなる、スケートセンターの維持ができないなどの現状が報じられており、歳出が多い原因が知りたい。
- ・得ている交付金の実態
- ・財政について
- ・小さな節約の積み重ねによる財政回復も大切だが、財政改革には大きな手術が必要。市で考える最も大きな財政改革は何か？一般企業であればリストラを決行すべき時期に来ている。
- ・財政的な不安
- ・各種団体の繰越金について
- ・財政状況
- ・市財政、基金取り崩しせず安定歳入の方策について、公共施設の廃止では無く、継続させる方策について(スケート場等)

## 行政

- ・市政に対する関心を行きわたらせる努力をして欲しい。
- ・市の方々の努力は認められるのですが、数年で課の異動がある中で様々な議論が確実につながって行っているのか不安に思います。
- ・5年後、10年後、この市が活性化するビジョンがあるか知りたい。
- ・行政よりの住民サービスの低下が心配である。
- ・茅野市は若者のまちに選ばれるために、市内外の若者に対して何をどう訴えかけているのか、そのために茅野市としては何を準備しているのかが気になります。というのも、茅野市周辺に住んでいる友達、理科大生、諏訪圏内、県外で茅野市を知っている若者、誰に聞いても「知らない」「刺さらない」と言っていることが気になりました。
- ・市職員の教育について。居住地区では区役員への態度が悪い
- ・パツとしない市政、メディア受けしない茅野市
- ・市役所の土日に行っている課はどのくらい有るか。
- ・市町村合併をする気があるのか聞きたいです。メリット、デメリットを聞きたいです。
- ・市職員の人数
- ・市の重要なデータや資料はどこに管理されているのか。基本的な資料を失うことのないよう管理する、DXで対応、他の市町村との連携を考えるなど、されているのでしょうか？

## 議会

- ・市の収入が減少するなか、市議会議員の削減は検討されているのでしょうか？また、議員の報酬は削減することは検討されていますか？
- ・市議会の会議中にうたた寝をしている方がテレビ中継で見かけた。なぜ市政について話しているのに寝るのか？
- ・議員の役割、直に担当部署に要望を出しているのに、議員にお願いしていない。

## その他

- ・明日まち懇なので参考にしたく参加しました。ありがとうございます。
- ・別途意見を言わせていただきます。
- ・今のところなし。
- ・本日の会議や他地区会議の内容、対応策等の内容を広報等の等で詳しく周知して欲しい。

## デジタル

- ・デジタル田園健康特区について、施設での活用にとどまり、市民にメリットが感じられていない。
- ・高齢者へのデジタル勉強会を充実してはどうでしょうか。茅野市の進めるDXにはスマホがどれだけの高齢者が使えるかが大事だと思います。(今よりもわかりやすく)脳トレにも良いので、高齢者が楽しく取り組める仕組みを考えて欲しい。
- ・市政では、行政に関する資料取得をweb上から取得する事が多くなっています。しかし、地区行政の公民館ではまだまだインターネット環境には敷居が高い状態で有ります。月額経費がそれなりに金額がする為。各公民館にはLCVのTV網が市の施策の元で視聴出来る様になっております。現在はインターネット環境がほぼ必須となっています。市のご協力の元で各公民館にインターネット網を整備いただけるお考えはございませんでしょうか。
- ・デジタル化 ・医療面への良い効果は大歓迎！ ・デジタル化の事業は外部委託のままか…？(高額) →外部へ流出 市職員のスキル向上を図り独自で動けるようにしていく方向にならないか？
- ・現在デジタル化を進行する中で人と人とが接する機会が少なくなるのではと心配です。顔と顔を合わせる事の大事さも忘れずに取り組んで頂きたい課題かと思いました。宜しくお願い致します。
- ・自治会アプリといえば、茅野市には『茅野市どっとネット』があります ちょっと使いにくいと思っております 防災無線と並んでこの先『茅野市どっとネット』をどうしていくのかを知りたい。
- ・「DX化」についてです。時代の流れ、利便性を考えると遅かれ早かれペーパーレスの時代になってきます。区長の仕事も減りますし基本的には賛成です。ですが、市からの連絡・発信が現在の区長経由ではなくなると、入区しない動機付けを助長することになりそうです。DX化を推進するにあたり、発信先を市へ登録するにあたり区を経由するなどの工夫をしてみてください。難しいとは思いますが、入区者の減少は市政がうまく回らないこととも直結するはずで。本件を熟考し、DX化を推進してください。
- ・DXについて、区長業務軽減や区民への情報提供の迅速化などのために、茅野市ドットネットに録者に通知できる機能を持たせるなどの改良を望みます。
- ・区内放送も音声では一度聞き逃してしまうとそれっきりの希薄な情報提供であることから茅野市ドットネットの通知機能や相互通信機能の追加を望みます。
- ・無理とは思いますがタブレットの全戸配布、スマホの画面では広報ちのは見る気がしない。

## 公共交通・道路

- ・本町の都計道については、難儀だとは思いますが。地権者との関係を保ちながらなんかいいい方向へお願いします。駅から蓼科への素敵な道を将来の為に頑張ってください。
- ・駅東口から市役所への「市役所通り」はインフラ工事が度重なって行われているため、舗装がひどすぎると感じます。観光地の入り口としての駅前幹線なのでイメージが悪すぎると感じます。
- ・財政基盤をしっかり回復させて大災害に対応できるインフラの整備に直ぐ取り組むべき。
- ・鬼場バス停にピアみどり線を停めて欲しい。(行きだけでOK、茅野駅降車でOK)
- ・茅野市の道路、市役所通り茅野駅東口からの道路がボコボコ
- ・のらぎあの運転が荒い。ドライバーとしての人選を考えては？
- ・白樺湖線の利用が限定的で出来ない事は、小学生、北山地区民にとって問題であり不便
- ・公共交通をもっと充実させてほしい。少ないのなら、朝夕1本ずつとか。中途半端な時間に走らせるのはやめて欲しい。多様な交流が幸せを実現できるまちの「原動力」と言っても、車の無い人(運転できない人)は多様な交流が出来ません。駅とロープウェイ間のバスの本数を増やして欲しい。
- ・のらぎあはタクシー化している。市民及び行政側でも意識を変えて欲しい。
- ・道路で自転車通行エリアが不合理 車が通れるほどの歩道に歩行者は少なく、自転車はそこを通れずに肩幅より狭い路肩を走っている。右折レーンのない交差点で渋滞が発生している。
- ・通学路及び、近くにある道は地域の方、小中高生が通ります。カーブや死角になるところが多く、カーブミラーが欲しいです。冬季は早くから暗くなるので外灯が欲しい。LEDにすると防犯にもなると思う。特に宮川小学校の大体育館の所は、外部の利用者がいて、長峰街道から大体育館の裏に石段を降りて来ますが、外灯がなく危険です。安全面を配慮し是非外灯をつけてほしいと思います。併せて、外トイレに行くにも暗くて危険。中に設置できないか。室内トイレの臭いが気になる。
- ・毎日粟沢橋を通行しておりますが、築年数何十年かわかりませんが茅野市としては架け替えの予定は有りますか。国か県の事業になるかと思いますが茅野市の考えはいかがでしょうか。
- ・かしこいデジタルの能力で「のらぎあ」が使い易いようにならないか？
- ・のらぎあを利用したくても希望日時に予約が全く取れない。台数を増やす予定はありますか？
- ・生活環境道路インフラの再確認、安心・安全な生活への影響、改善進む道路インフラ(国道152の混雑について)

## ゴミ・環境

- ・ブルーシートや消火器がゴミステーションに出されていた。対処方法は有料になってしまう。市で何とかならないか。
- ・現在リサイクルの日は区民の当番制でリサイクルステーションに立ってもらっていますが、高齢の方はもちろん、朝の多忙な時間帯に時間を割くのはとても大変です。冬場は高齢者にはとても厳しいです。リサイクルを初めて20年近く経ち分別も慣れてきていますので、その場に係の人が居なくてももう大丈夫と思います。区民が出なくてもいい収集方法に変えていただきたいです。近隣の市では誰も立たずに回収しています。いつまでもこの形態でやらせるおつもりですか？
- ・ゴミステーションを非入区の方専用で市で設置してもらい、地域毎のステーションは使わない様指導するなどの方法もあると思う。
- ・当区では区民以外、及び他地区からのゴミの不法投棄が毎週のようにあります。この大きな要因は入区しない人の増加にあります。この問題を地区区長会で市の関係者含め、議論したいと提案しましたが当区だけの問題と却下されました(市職員の問題意識が低すぎる)。自治会に入るとは強制できないことは承知していますが、市として自治会に入らない場合はその権利も得られないことをはっきりと言ってもらいたい。美サイクルセンターにも当区は区民以外のゴミステーション使用禁止を報告しましたが「協力して欲しい」と言うだけで区の負担が増えていることをわかってもらえませんでした。
- ・東京狛江市と結んだカーボンオフセットの進捗について教えてもらいたい。

## 農林

- ・農地の減少、耕作放棄、宅地化等で、耕作面積が減っているようだ。従事者の高齢化で耕作者が減っていくと思う。近い将来、今年の夏のような米不足など頻繁に起きるのではないか。食料輸入に頼っているが、諸外国の不作の影響を受けやすく思う。(オレンジ、カカオなど高くなっている)食糧自給率は上げられないだろうか。
- ・茅野市の75%(?)が林であること→林業への関わり 大規模農業の推進と共に小規模、家庭菜園の活動を農業の両輪となるよう、広い農業地域である茅野市の長所として長期計画を作りたい。今のままだと自然環境を保護する役割も失われてしまう。若者・移住者は農業をやりたいと願っている。
- ・土地改良区で水路管理上で破損個所の修理を農林課に依頼するのですが、多面的機能支払交付金で賄えと回答されます。しかし、この交付金は資源保存管理会で水路工事で使っているの、土地改良では使えません。水路維持は出来る範囲は土地改良で行いますが、業者に依頼する工事は市で行って頂ける様お願い致します。8月中旬豪雨であちこちの土手が崩れ未だにブルーシートで被覆された所が散見されます。この現況を見るに付け、もし災害等で水路、水田等が破損した場合、市では速やかに修理してくれないのではと感じます。特に突発的集中豪雨が多発する昨今、小規模な災害の速やかな復旧をお願い致します。農業支援事業で、成分分解マルチを推進していますが、農業普及には効果的か疑問です。違う支援策をお願いします。土壌消毒剤良いと考えています。
- ・高齢化による田畑の変化が心配です。しかし標高の高い中山間地域で通年作物は採れず、またある程度大規模に耕作しないと成り立たないとすると、少しずつ多くの人が耕す(自分の食べるものは自分で作る)ような人が少しでもふえればいいのかと思っています。その中でやりたくても道具や機械をそろえるハードルがありなかなか踏み切れない。まずここを農地が空いてきているなら、機械や道具だって空いてきているはず、これを地域ごとに繋ぎたいです。借りれる土地も機械も近くにないと、これもハードルとなり愛着がわきにくい。またやり始めると採れすぎて最後は廃棄という話も聞きます。気軽に誰でもだせる直場所、ここに「蓼科野菜」の旗なのかステッカーなのか茅野市として統一感のあるものにする、観光客にとっても少し道を走ればあちこちに「蓼科野菜」が点在してある、暮らすように旅をするイメージで、この土地への愛着やそこからの人の繋がりが、また来たい、住みたいにつながるような気がします。関連してほっとステイという事業があります。受入れ後に体験した中学生が親をつれて遊びにくることがあります。この連鎖にも注目したいです。茅野市に移る前は東京に居たこともあり、よりこの暮らしの豊かさ自然に近いことへの有難さをわかっているつもりです。観光として訪れてくれる人が増える(これはものすごくいいことかどうかわかりませんが、他地域のオーバーツーリズムの話を知るとほどほどがよいような気がします)とは別の軸で本当の価値をわかってくれる人が移り住んだり訪れる町であってほしい、そう思います。

## 観光

- ・多くの人が集まれる場所が観光地として欲しいと思います。何か他にはないものがあればと思います。
- ・財政難な状況は理解できるが、今後、未来の茅野市の目指す姿を考えたとき、何に投資をするかが重要だと考える。若者に選ばれる街づくりを目指すなら、八ヶ岳を背景とした中山間地の地域振興を支援して欲しい。
- ・地域振興を皆んなで考えたい。昔の話、想いは地域がつぶれてしまうから、若者の意見も取り入れて、プラス思考だと思う。
- ・泉野地区にある財産を大切にしたい。八ヶ岳や観光に力を入れていったらどうでしょうか。

- ・区、自治会において、入区住民の確保が難しい。現在問題になっている。入区条例の再検討を考えてもらいたい。
- ・今年区の3役をやっているが災害が実際に起きた時に、区長3役として実際どういった行動を取らなくてはいいか、自分の仕事や家も含め何を優先すべきか、答えを見つけるのが難しい。区費の件では高齢者からも同額の区費負担をしてもらっているが、現状の区の行政運営上減額が難しく今後の大きな課題と考える。本町は用水の管理をしているが、緊急時の水門開閉は市でも対応して欲しい。(皆仕事を持っており、対応出来ない場合もあるため、緊急時の責任が重い)
- ・区という最小のコミュニティの存続が難しくなっているため、入区条例に再度チャレンジすべきではありませんか。別のやり方もあるのではないかと思います。
- ・行政区のしぼり、入区するとか退区するとか、退区するとその地区に住みにくくなる状況とか耳にします。それが茅野市の暮らしにくさにつながっていると思います。行政区の事に市が口を出せないと聞いたことがあります。内側(区内)にいると変だと気付かない事も外部から見たらおかしいとわかる事もあるので、ちょっと市がメスを入れてもいいんじゃないかな。
- ・入区問題、新しい価値観の創成を改めて整理し、理解してもらえるように市民にきちんとアピールする。
- ・区の住人の高齢化が進み、区の諸役のみ手がない。あと10年、20年で破綻する。区の存続も含めて区内で真剣に話し合う必要が出てきている。区の合併や自治会化など色々な選択肢を考えて話し合う予定。
- ・区の問題(区に入りたがらない)は移住者など外部から来た方々の視点をネット上などでも多く聞いてみたらどうか。今は賃貸だが入区費？が高額すぎて本当に驚きました。地元やこれまで暮らしてきた地域とはケタが違っていました。
- ・パートナーシップのまちづくりの在り方について、行政と市民の関係はどうか。働き方改革という考えは進めるべきと思っているが、場合によっては市民の立場を重視していただきたい。日中、仕事を持っている者にとっては昼間の会議や説明会、打合せはきついです。健康な高齢者であるための仕組み作り、やりがいのある活動の場の整備。サンライフ店から東海大付属諏訪高校までの歩道整備。(朝は通勤車両が多く、学生が危うい)便利なまちより、住みやすいまちづくりを進めていただきたい。
- ・市の組織の一部である区長会に市民、団体の要望等に対し具体的に行動(検討、協議、回答、行動)して欲しい。各地の公民館への冷房を設置して欲しい。今夏のような暑さがあると、子供、高齢者の会合を日中には計画できなくなる。
- ・市から区への委託事項や要請事項の削減
- ・区に入区しない人たちの対応はどう考えているのか？
- ・区から提出する要望書に対する市の対応がおそい。→数年継続して要望してもなかなか対応してくれない。特に道路工事に関する内容。茅野駅周辺の活性化を検討してほしい。→岡谷のカノラホール並の大規模ホールの建設。商店街の充実 など。8/13に行われていた花火を復活してほしい。中央病院から栗沢橋方面へ抜ける道路計画、日程を教えてください(東海諏訪高校から栗沢橋までの区間)。
- ・下諏訪で生まれ育って11年前に茅野市へ移住してきて思ったこととして、区費がなぜ、こんなに高いのか。
- ・村役が大変で若者がしがらみの無い地域に家を出てしまう。特に区長にはなりたくない人が多い。軽減できないか？区長の仕事を減らして欲しい(市からの行事等)。
- ・未入区者への茅野市の取り組みを知りたい 五年後、十年後をどう見えているのでしょうか そして各区の対応を知りたい 各区内での独自の取り組みが共有できるといい
- ・これからの人口減に対して区役員、PTA役員、消防団員等の確保が難しくなっています。今年から消防も隣の部と一緒に活動していくことになりましたが、このような統合は、区、PTA、でも今後検討が必要ではないかと思っています。数年先の話かもしれませんが、小学校の統廃合の次はこのような議論が必要になるのではと思いました。
- ・生活の多様化と言われる現在ではあるが、新しく移住された方や元々住んでおられる若い世代の方に自らの手で地域を、生活環境を作っていくと考える方々が減っている。つまりは行政がやってくれる意識がどんどん強くなっていると感じる。行政は住民を甘やかす事ではなく、自主を促進すべき。事有る毎に(特に災害発生時)行政は何をしている？ではなく行政に何をしたいか？具体的に物言える住民を育てていかねばならないと考える。入区される方のメリット、入区されない人へのデメリットは大変重要と思う。入区した人への減税大変良いアイデアと思う。

・【区・自治会等の役職、消防】みんながもっと率先して関わりやすいシステムだといいいかなと思います。市長さんもおっしゃっていましたが、人口の減少により今まで通りを維持するとなると20年前の倍の労力であるとのことでした。地域のために活動したいという気持ちはみんなあると思いますが、実際労力も時間的にも負担感は大きいです。会議でも意見がありましたが、報酬(時給など)があるといいのかなと思います。区に入るというのも、任意ではなく、何か別の形(住民税や別荘の管理費に組み込むなど)で満遍なく徴収してもらえた方が、今後も運営していきやすいのではないのでしょうか。地域の活動＝報酬・雇用になれば地域の活性化にもつながるのでは？

・当自治会は別荘エリアを含んだ地域で、発足の経緯は観光協会からと聞いています。その中で昨今は観光業に属さない世帯も増え、また別荘エリアの世帯はゴミ収集や災害時の避難先を管理会社が担っていることもあり、別荘エリア以外の世帯と混在して自治会を運営するのは難しいのではないかと考えています。広範囲に及び別荘エリアの方にとって入会するメリットが感じにくく、また世代をこえてこの土地に愛着があるというよりは、好き好んでこの土地を選び住まうことができる裕福な世帯なのでは？(おそらくこのエリアにどうしても住まなければいけない理由がある方はいないような…)と考えています。自治会の役割として人とのつながりや防災面があるとすればこの辺り踏まえてアップデートする、もしくは目的を明確にするなどしていきたいなと思います。

## 移住

・移住者の促進はとても大切だと思います。私の妻は千葉県出身ですが茅野市の夏は涼しい気候をとても気に入ってくれています。アピールできるポイントだと思います。

・伊那市は魅力的な移住先としてニュースに取り上げられたり、隣の南箕輪村も移住者が多いのに、茅野市は魅力が無いのではと思います。茅野市は美しい自然も多いし大都市の東京からも来やすいところだと思っていますが、県内の他地域との競争で負けているのではないかと思う。

・東京から移住し8年目になります。ほっとステイちのは、都会の子供達との交流に加えてその後親と共に茅野市に遊びに来てもらえる事例も散見され、都会の子供達だけでなく茅野市にとっても関係人口創出にプラスになるともいい取り組みかと思っています。茅野市にとって大切な施策の一つだと思いますが、事務局が高齢化していることもありDMOが引き継ぐという話がありました。その後どうなっているか可能な範囲で教えて頂けると幸いです。

・神奈川県から移住してきました。家族で生活していてこんなに魅力のある地はありません。とても素晴らしい地であると思っています。ただ、神奈川に住んでいた時、茅野市の移住に対しての情報はかなり少なかったと実感しています。まだまだポテンシャルのあるこの茅野市をもっともっと発信していくことも重要ではないかと思っています。

## 商工

・①茅野市に半導体の会社に来て、なお、第二工場を作る計画があり、この機会に市の定住人口を増やすいい機会ですので、定住促進等住宅取得時の税低減、住民税の一定期間の低減など子育て家庭への支援。②この半導体会社の関係会社にも企業移転も働きかけてもらいたい。企業が多いことで理科大生も地元就職する人も増やすと思います。

・企業誘致について、一部の地域だけが潤うような施策はやめてもらいたい。

・大きな工場ができると聞きました。予定地には湧水が出ます。世界的にみても、綺麗な美味しい水は大変貴重な資源です。日本国内でもこんなに美味しいお水が飲める場所は特別です。茅野市はミネラルウォーターで有名な街エヴィアンのような可能性を持つ地域です。日本のようにたっぷりのお湯でお風呂に入ったりするのはとても贅沢なことなんです…。オーストラリアでは今でも「シャワーは7分まで」ということが言われたりします。今の石油と同じように、将来的には水をめぐる戦争が起きるとも言われています。水は国のレベルで守って頂きたい大事な資源です。市でもしっかりと厳しく規制をかけて頂きたいです。オーストラリアや東京、いろいろな都市で暮らし旅をしてきて言えるのは、茅野市の最大の魅力は豊かな自然です。建設予定地は美味しいお米や農作物が取れる地域でもあります。湧水があって山や田園風景のある北山ではなく、せめてもう少し下に建てることはできないのでしょうか？どうかお願いします。豊かな自然が魅力なので、それを守るための観光税の導入など、財源の確保にも繋げていけるような方法があるのではないかと思います。

・お盆の花火大会を開催していただきたい。お盆の花火大会の費用、各企業のお金を白樺湖花火大会に出すのではなく茅野市は茅野市で開催していただきたい。

・魅力のある地域にするには、若者を受け入れる企業、色々な種類の業種の企業が必要。企業誘致はどうなっているか？

・大きな工場の建設は決定なのか？環境課としては、水資源、水道、貯水池への影響はどう調査(地質調査、ボーリング調査?)、検討しているのか？情報をきちんと出して欲しい(すでに会社では社員募集しているが…)。

## 福祉

- ・就学前検診などで市の職員が手伝っていただけそうなことは、積極的に手伝っていただきたいです。(お忙しいとは思いますが)
- ・河原の湯を無くさないでください。茅野市内の温泉を武器にしましょう。泉野地区にある財産を大切にしたい。
- ・温泉施設で料金が下諏訪では250円ぐらいなのに、茅野市は400円で、県外は400円じゃないというのが不思議だと思います。それはなぜなのか回答お願い致します。
- ・諏訪の血液センターがなくなったので、そのかわりを中央病院で行うことはできないのでしょうか。

## 空家・土地

- ・空き家、土地利用に関して 地区内に多くの空き家があります。更地にすると税金が高くなる、これにもお金がかかる。里山の植樹 戦中、戦後に植樹した林が手入れをしないで荒れている。個人ではやりきれない状況。需要と供給を繋ぐ方法はないか。
- ・近隣の空農地を希望者に斡旋して欲しい。(農機、肥料、作物育成に対する専門家の支援も含めて)
- ・空き家バンクを市民から空き家情報を提供できるシステムがあったらどうか！その情報を元に市職員が空き家情報を確認して空き家であれば空き家バンクに登録できるように案内する。空き農地バンクもあると同じように利用者はいるはずなので空き家バンクに空き農地バンクと一緒に利用できるようにしたらどうか
- ・若者が帰って来るのに助成金を出すとか、空家を安く貸すようなことはやっていないのか。例えば、Iターンの場合50万円とか、家賃2万円補助とか？

## 防災

- ・有事の際の避難所立ち上げや、資材確保やトイレ確保等の対応や課題なども、話し合えれば良い。
- ・学校の統廃合における基本避難所のあり方もあわせて検討してほしい。
- ・そろそろ10年になる防災無線(子機貸与)このシステムをこのまま進めていくのでしょうか 機械の故障など出てきたり、その修理が不能だったり不安だらけです 当区としてはこの防災無線の機能を補完するような自治会アプリを導入します 茅野市DX課とも情報を共有しながら進めて行きます。茅野市としてこの先の防災無線の行末をどう考えているのかを知りたい。

## 少子化・人口減少

- ・分娩手当金の増額・妊婦検診の公費負担、妊娠中の業務の軽減化への補助金などを積極的に改革しても全く少子化傾向に歯止めはかかっていない。子育て世代へのサービスをアピールしても、子供を産もうと考える人はあまり増えていない。結婚を望まない人も増えている。全ての問題の根本は少子化にあると思われる。それを打開出来る何か秘策はないだろうか。
- ・泉野では人口が少なくなり多方面に渡り大きな問題となっています。人口を増やす方法を考えてどうにもならなければ小学校をなくすのを考えなければならないが、今はまだそこまで皆が必死になって考えていません。
- ・茅野市の魅力をフルに生かした戦略的なPR展開 ①夏暑くない②冬も大して寒くない、雪が少ない③景色がよい④東京まで2h、5500円⑤標高が高い→人口減に勝つ
- ・今日の懇談会で茅野市の状況などよくわかりました。人口減少により色々大変になってきており、私の住んでいる区も悩んでいます。でも、アイデアを色々出し合えばそれなりに住みやすい所になるかと思えます。茅野市も一生懸命考えておられるようなので良い魅力ある市になると思う。なって欲しい！
- ・婚活活動もしていければいいと思います。
- ・少子化・人口減少をどう評価しているか？ポジティブ？ネガティブ？そしてそれらの原因は何だと考えているか？
- ・人口減少に対する対策の有無 泉野小学校が廃校の可能性があるという話が出ているが、現在泉野に住んでいる人の生活は？子供の生活は？人口が減少しているのに小学校が無くなるとそれがさらに悪化するのでは？人を減らす対策をするのではなく人を増やす対策をして欲しい。費用が無く廃校の案が出ていると聞いたが費用を作るように努力をして欲しい。人口を増やす事が一番大事だと思うので、そこに力を入れて欲しい。

- ・市町村合併しなかったから、今の苦しい現状がある。合併しないことを決めた責任をとのお話しでしたが、合併していたら、どう現状と違った形になっていたということなのかが分かりません。
- ・6市町村合併に賛成です。「次の世代にこのまちをつなげていくために」という市長の発言に感じ入りました。一方で、市民一人ひとりが市の改革の結果を実感することは難しそうです。全ての市民が「こういうことなんだ」と腹落ちできる情報発信をお願いします。YouTubeで熱弁をふるう市長が見てみたいです。
- ・税金や物価の上昇で金銭的に生活が苦しくなる状況で、家庭や家持の子育て世代に給付金等あっても良いのではないかと？会社員の給料なんてすぐに何万も上がることは無いので市から援助があっても良いと思います。
- ・毎年実施している案件に関する入札について、告示から入札までの期間が短いのでは？声をかけられても準備が出来ないと思う。結果、談合につながる。指定管理事業についても同様。競争原理が働いていない。民間が出来ることについて幅を広げられるように条例の変更を検討いただきたい。別荘民から、地域独自の税金等を検討しても良いのでは？お金持ちは世の中にまだまだたくさんいます。別荘定住者ですが、高齢になると売却し都市部に転出していきます。別荘地域への交通手段の拡充が必要ではないか。太陽光パネルを今以上に増えない様にして欲しい。
- ・まちづくりについて市民との対話は丁寧な議論が必要であり、納得と共感が必要です。財政悪化で強引な進め方が目立ち、市民との信頼関係がくずれて、自助、共助、公助のパートナーシップのまちづくりがくずれ、健全な行政運営ができなくなると思います。
- ・行政側としての考え方の伝達方法がうまく伝わらないのでIT等も含め再考して欲しい。
- ・市行政での各駐車場の管理は適格に行われているか。駐車場を使って車の商売をしている人はいないか。調べてください。しっかりチェックしてます。
- ・市職員の対応に大いに不満。やるべきことをやらない、無駄な金を使い無駄なことをやっている事例が多い。だから市の財政も悪化している。それなのに危機感が感じられない。まず初対面の人間にタメ口で話すのをやめてもっと緊張感を持って仕事をする事から始めてください。
- ・市 業務のあり方について
  - ・総合計画は無駄です。負債が増えるだけで財政の為にはなりません。茅野市の財政状況は未来に夢を見るようなものではありません。市の存続を優先した取組に特化すべきです。基本構想があって、しっかりして行けば十分です。
  - ・交流が大事ということはなんとなく解るが、今実際に住んでいる市民には響かないと思う。市民の幸せはもっと違う所にあると思う。
  - ・机上の議論をするよりも、まず現場を見て、状況を確認してもらいたい。現場の問題点は一番上げて解決してほしい。
  - ・目指す姿をわかりやすい言葉で見える化、指標化し共有する。例えば、学力日本一の市→子育て世代の流入→意欲ある教員が集まる＝人口増、生産世代増、出産率日本一、高齢者の就業率日本一、子育て世帯。生産世代の増加率日本一、30未満の増加率日本一→市営住宅(子育て世帯用)、子供祝い金(2人目100万円、3人目300万円)
- ・20年ほど前は、日経トレンディのランキングで魅力のある街ランキングだったか、住みたい街ランキングのような評価が、全国で2番か3番だった時があったと記憶している。施設の閉鎖など最近の動きは、昔上位だったランキングとは全く逆のイメージである。まち懇では、過去の成功体験を振り返っても当時の状況とは変わり過ぎて、参考にならないと話されていた。対策面ではそのとうりだと思うが、全国の市や町と比較して上位だった約20年前、他の市や町よりも何が優位だったのかと検証してみると最善策のヒントがあるのではないかと思います。結果が良かったころの取り組み方を参考にできないでしょうか？市民のニーズに対する市のアクション、アイデア出しの年齢層や方法、市が目指す方向など。うまく文章にできませんが、その頃全国の自治体と比べて何が優れていたのかを参考にしたいです。

- ・スケート場について、氷のリンクではなくてローラースケートのリンクにすれば良いと思います。費用は氷を作るより安くなる。
- ・財政の「待ったなし」もっと具体的にわかりやすく。待ったなしにならない財政とは何か示して欲しい。
- ・プール、スケート場などの有効活用を考えてほしい(民間による経営)。
- ・大変な時代だが信念を持って前に進んでいただきたい。心を鬼にしてスクラップ&ビルドを進めていただきたい。既存施設を有効利用しても限界がある。解体して新たなコンセプトで進めることも大事。(バルビア等)
- ・市の施設の削減は子どもの遊べる場、市民のいこいの場を無くすことにつながると思います。これが魅力のある茅野の姿でしょうか？
- ・市として投資する対象は全世代、全地区では無理。子どもが学校以外で活動支援できる機会を大切に(小中一貫校、こども館、地区こども会等、公的活動を支援する企業←市からも支援)。
- ・お金を集める工夫、小平さんに協力いただき、スケート場再建のクラウドファンディングを行う。茅野市の特産品。
- ・幸せを実現できるまち？子どもの幸せの実現はどう考えているのか？プールスケート場、競技場の公認など無くすことしかしていない。現に私の子どもやその友達など茅野市に魅力を感じていないとのことで戻ってこない。無くすことではなく、今あるものを活かすことを考えて欲しい。お金がないならあなたたちの報酬を減らしてください。一般人はあなたたちより貧しい暮らしをしています。
- ・プール、スケート場等、家族が楽しめる所を閉鎖してしまうと、余計に若い世代は移住しなくなるんじゃないのかと思ってます。再編が決定ではなく私たちの意見に耳を傾けてくださったこと感謝します。ただ、市長が「知らねって感じで、投げやりな態度は、上に立つべき人の行動なのかなって、モヤモヤしてしまいました。
- ・公共施設の料金の値上げは仕方がないが、算定方法や基準を明確にして欲しい。
- ・市プールは閉鎖されるが、今後どうするのですか？
- ・スケート場の再利用の考えは有るのか？
- ・市長さんや議会に対して市民から様々な意見が出る中で決断出来る役職であるので、しっかりと”英断”して欲しいと心底思います。それに加え、財政の不安は将来の不安であり、激動の時代に合せられる基金をしっかりと確保し、支出を抑える、投資を重点化する(何でも手を伸ばそうとするのは駄目)。若者は新しいことを街ではなく正しい姿(時代)に適用する街を望んでいます。
- ・施設使用料の差をつけるという件について 市民と市外という分別ではなく、エリア別を検討してみても？諏訪地方プラス近隣/県内/県外など
- ・どのような価値観で物事を決めているのか知りたい。例えば、財政危機といいながら、買い物券、市民に2000円配るのに、なぜ4400万円出費する決断をしたのか、理解に苦しむ。
- ・日頃より市政にご尽力いただき、ありがとうございます。市財政の難しさから改革を余儀なくされたものもあるかと存じますが、次の点についてご回答いただければ有難く存じます。夏休みは、特に子どもたちが喜々として水と親しんでいた市営プールが、この度閉鎖とのことですが、利用している子どもたち、ならびに保護者からの意見や要望を聴いての運びとなったのでしょうか。近年は3年前のコロナ渦や熱中症等への配慮、学校職員の働き方改革等々もあり、学校での夏休みのプール開放が中止となり、1学期中にプールでの水泳学習は終了しているとお聞きしています。ですので市営プールは子どもたちにとってとても大切な施設でした。1)プール閉鎖に向けて、ていねいな意見交換の場はあったのでしょうか？2)また、今後、閉鎖後、子どもたちが活用できるプールに値する公共の施設の計画はあるのでしょうか？親御さんの「これからはプールに入るために、諏訪や松本まで行かなきゃ」という言葉をお聞きし、これは、小さなことかもしれませんが、子どもが大人になっても住みたい茅野ではなく、こんな茅野なら住みたくない…の一歩かもしれないと感じました。ぜひ、子ども→10年20年後の大人が茅野に住みたいと思える街づくりしてください。
- ・本日まち懇で市長が言われた民間事業者の選定をしっかりと進めてほしい。また民間事業者の検討をしているとのことでしたがその情報を知らなかったのでもっとしっかり発信してほしい。
- ・財政難で赤字は何でもカットではなく茅野市の特徴を活かして欲しい。季節のスケート、プールなどあれだけの設備が整っているのは他にはない財産。何でも横並びカットでなく活かすことで集客し収入源とできないか。
- ・プールはまだしも、スケート場は諏訪地方の文化であり、一度廃止ともなれば復活は極めて困難であることから、6市町村での運用や、県への移譲などで運営の継続を望みます。
- ・赤字ではないと言っているが、市民プールやスケート場の廃止を検討しているのは何故なのでしょう。子どもの成長や楽しめる場をなくさないでほしい。茅野市で子育てをする魅力がなくなっている。小学校の話しになった時に「詳細は知らない」と教育長にマイクを渡す市長の姿にがっかりした。これだから、茅野市の教育は変わらないんだな。そう思って残念です。

## 学校・子育て

- ・小学校のトイレの件についていい話ができたとする。すぐに実行は出来ないとは思いますが市長さんを含め直接気持ちを伝えられたことはよかった。是非、良好な教育環境整備を期待しています。
- ・宮川小学校のトイレ異臭は、清掃等では不可能、至急の対応を願う。
- ・宮川小学校のトイレのにおい改善
- ・学校や保育園の統廃合は、まったなしでどんどんやっていただきたいです。漠然と市民が話し合っても、具体的な意見は上がらないので、ある程度市で情報やたたき台を示してから話し合った方が良くと思います。こども館は無くしても良いです。学童があるので、今ある無駄をなくし、自分の子ども達がゆとりを持って暮らせる茅野市を目指していただきたいです。
- ・子育て環境を考えて公園、プール、スケートセンターなどを残せるようにして欲しい。少子化により学校のあり方をしっかり市民との対話をしっかりして欲しい。
- ・小学校が統廃合される話がでていますが、子どもにとってどういう環境で育てるのが最適なのか、将来の茅野市を担う子どもたちです。財政が厳しいがどうか適正な規模はこれこれというのではなく、どうやって地域の学校として盛り立てていこうか考えていきたいし、行政としても考えて行ってほしいです。
- ・泉野小学校を残してください。市税を平等に使ってください。コミュニティが失われてしまいます。
- ・金沢小の今後について、どうなるにしても現役世代やこれからの世代の意見をもう少ししっかり聞いて進めて欲しい。子育て世帯にとって重要な市民プール、スケート場は残すべきだと思う。
- ・学校のトイレが臭すぎます。立て直しではなくリフォームして欲しい。
- ・「学校を統廃合する」という考えではなく、現在ある学校を活用して、「金沢地区の子どもが金沢小に通う」でなく、市内全域からどこの学校に通ってもよいなどしたらよいと思います。北杜市はそうみたいなので、そんな柔軟性があつたらと思います。
- ・財政難だからと言ってスケートセンター、プールをなくす又、小学校合併等子どもを犠牲にしてはいけないと思う。子ども、小学校が地域の中心にあると思います。
- ・金沢小学校の存続を望みます。
- ・小学校統廃合は案を検討委員会が先に示すべきではないか。
- ・小学校、中学に入って良かったと思える特色を与える(できれば海外留学が行なえる等)
- ・学校再編について、里山教育を残せるように勉強していきたいです。
- ・小学校のPTAが市からの脱退を考えているというのは本当か？
- ・学校の統廃合は仕方が無い事と思うので、子供達にしわよせの無いように丁寧に進めていただきたいです。老人の定住は産業の少ない原村に任せておいて産業(2次・3次)のある茅野市では20~40歳代の生産性の高い年代の定住を取り込めるように子供の教育環境の充実等「輝く」政策を作っていただくように納税者として期待しています。先日のスケート場の対話会のように子供の事には、子供の意見を聞くというようなフレキシブルな方法を取っていただきたいです。
- ・教育に関しての予算を増やしていただきたいです。特別支援やICTの予算が足りていません。
- ・小学校は無くして欲しくありません。泉野小学校でなければ出来ない教育もあると思います。
- ・泉野小学校は恵まれていると申されましたが、同じ泉野ですが大日影は豊平小学校に通っています。大日影の小学生は中学校に行つて他の泉野の小学生と一緒にあります。その辺をご承知下さい。「大日影」も泉野の一つの行政区です。
- ・小規模校の人数増加策のひとつとして、都会からの山村留学で増やす考えは有るか。
- ・少子化対策として3才未満児の受入れ(託児所)が大変と若い母親から聞かされています。働く女性の支援をすることによって出生率も上がっていくと思います。託児所を増やす事を希望します。
- ・子育て中の親の負担についてどの様に考えているか？子育て中の親の負担を減らすことが他地域からの移住者の増える(多少でも)と思いますので検討をお願いします。
- ・市小学校のあり方検討に関して、ちの地区では永明小中学校が新校舎になり、学区の統廃合は議論なく進みましたが他地区では統廃合の議論が盛んであると聞いています。先日の永明中学校「银杏祭」の時に生徒さんが自ら疑問点を見つけてまとめ発表し、聞いている生徒さんが質問をしていました、その様子から、大人と違う観点で問題意識があると感じました、また先日民生委員研修旅行で行つた長岡市「やまこし復興交流館」で説明の方が村民が地震被災地に全員戻つて復興したきっかけは子どもたちが生まれた村に帰りたいと言ひ出したからと言つてました。そのようなことを考えるに、小学校の統廃合を考えるに子どもたちの意見を聞く場を設けてほしいと思います。

・北山小学校を残してほしい。北山地区はとても広いので、災害時の避難場所としても必須。給食室で炊き出しも可能。教育で新しい取り組みをすれば、人口の流出緩和・呼び込むことも可能。教育に興味がある人々が集まることで、今茅野市が抱えている問題も幅広く解決していけると感じる。伊那の小学校では体験型授業をすることで、転入生が毎年14人くらいくるそう。教育に力を入れている地域は子育て世代にはとても魅力的。「統廃合に賛成。いろいろな考えに触れる機会は子供の成長過程に良い」という意見があったが、北山小は他県や海外からの移住者・短期間の体験入学も多く、新しい価値観に触れる機会はすでにたくさんある。全校生がお互いの顔や名前を知っていたり、独特な温かい校風もあり、先生方が色々な授業を考えて下さったり、つらい気持ちを抱えている子達に学校全体で寄り添って下さったり、地元の有機野菜が給食に出たり、畑の授業や地域の方々との交流もある。若い層の人口流出は、高校が少ないことも原因では？北山小を新しい教育の形を試すモデル校としたり、小学校～高校までにして頂く可能性もぜひ検討して頂きたい。

・今話題の小学校再編、個人的に0ベースから進めていくこと、とても勇気のいる決断だと感じています。私もいち保護者ですが、関心の薄い方の方が多い印象です。賛成とか反対とかどっちでもいいとか様々な感情はあると思いますが、個人的にはそれぞれがどう思っているのかまずは言葉にしてほしい、そんな地域対話の場になればと思います。興味関心のある人だけ声の大きい人だけの考えで進めてしまうのは何か違うように思います。正解なんてどこにもないし何を選んでも良かったのかどうかもわからないですがみんな考えてたいです。この関心の薄い層に少しでも地域対話に参加してもらうには(意見をきくには)保護者なら保育園や学校の参観日で少し時間をもらう、子連れの集まりやすいイベント(地域コミュニティの地区単位のもの)で話しを聞くとか、もしかして公式な場(さあ話しをするぞ!)ではない方が率直な言葉が聞けるのかもしれない。このまじもそうですが、ある程度意見がまとまっていないと(準備していないと)発言は難しいのではと思います。

・通学路及び、近くにある道は地域の方、小中高生が通ります。カーブや死角になるところが多く、カーブミラーが欲しいです。冬季は早くから暗くなるので外灯が欲しい。LEDにすると防犯にもなると思う。特に宮川小学校の大体育館の所は、外部の利用者がいて、長峰街道から大体育館の裏に石段を降りて来ますが、外灯がなく危険です。安全面を配慮し是非外灯をつけてほしいと思います。併せて、外トイレに行くにも暗くて危険。中に設置できないか。室内トイレの臭いが気になる。

・地域対話の時に、保護者の方を集める時に、託児スペースを設けた方がいいと思います。子どものことを決める時に子どもが預けられないことが問題になるのではせつない。

・公共施設を国産無垢材で建設することは可能か？

・学校給食を地元産100%食材を目指す気はあるか？

・茅野市は大きい本屋が無いので、子供が本を買う事ができない

## その他

- ・もう少し若い方も参加できる懇談会になればと思います。
- ・まち懇の様な地域に通じるテーマに合ったディスカッションは大変良い話し合いとなるので今後も続けて欲しい。
- ・市長の話しが抽象的で市の方向性が分からない。(未来に向けて水を撒いている、明るい未来を築くために頑張っていく、幸せを実現できるまち)→話に具体性が無い。
- ・まち懇がカジュアル化、大賛成です。女性と若い方が少なすぎて衝撃的でした。
- ・20～30代の意見をまとめてください。
- ・茅野市全体で考える方向が大切だと思います。単独で泉野、玉川と区分して考えていてもダメ、良くわかりました。
- ・内容の濃い会であったと思います。これからの泉野をお願いします。
- ・今日はありがとうございました。市がやろうとしていることがよく分かりました。お互いの考えを伝えあえて本当に良かったと思います。行革は大変ですが頑張ってください。ありがとうございました。
- ・若年者(特に子育て世代)だけの交換会を開催して意見を吸収して欲しい。
- ・広報ちの、市長へのおたより等あるので、まち懇は2年に1回位で良いのではないか。
- ・子育て支援、高齢者がハッピーと本当になるよう、茅野市民に優しく、若者も子育て家庭も茅野市に住みたい、住み続けたい街であるよう、市民と共に盛り上げていきましょう。私たち世代も会議参加したいです。意見も丁寧にお話しして下さり、市長さんありがとうございました。
- ・市長の思いが、市職員を含め市民の多くへ伝わるよう願います。
- ・行政と市民の対話やコミュニケーションは、これからも密にしていきたい。
- ・こうした事を子どもたち相手にも実施して欲しい
- ・本日のまち懇で、現在おかれている市の状況、これから取り組まなければならない課題を知る事が出来、有意義な懇談会になりました。
- ・5年後、10年後を見据えて市でも色々対策を打ち出されている事ですが、芽が出始めている物はどういった物(事)か具体的な事を知りたかった。
- ・市の職員の集まりの多いこと、人件費もままならない。威圧感ありました。
- ・このような機会をつくって頂きどうもありがとうございます。今井市長さんのお話も大変わかりやすく、市民の声を聞きたいとおっしゃってくださる姿勢には感銘を受けました。文字制限がございましたので、何度かに分けてアンケートを送らせて頂きます。(ぜひ文字数を増やして頂きたい)

※住所・氏名の記載があり回答を要する方には、文書にて回答しています。

令和6年度「まちづくり懇談会」会場アンケート

可能な限り右のQRコードからweb回答をお願いします。



アンケートweb回答用  
QRコード

1 性別【いずれかを選択】 男 女 その他

2 年代【1つ選択】

20歳代 30歳代 40歳代 50歳代  
60歳代 70歳代 80歳代 その他（ 歳代）

3 お住まいの地区

ちの 宮川 米沢 豊平 玉川 泉野 金沢 湖東 北山 中大塩  
その他（市町村名をご記入ください）〔 〕

4 区・自治会への加入状況【いずれかを選択】

加入している 加入していない

5 過去5年間で、まちづくり懇談会に何回参加されましたか。

① 今回が初めて ② 2回から4回 ③ 5回以上

6 あなたがお住まいの地域について、課題だと思えることは何ですか。（複数選択可）

①医療・福祉 ②子育て・教育 ③ゴミ収集・環境 ④空家・土地利用  
⑤農林商工観光業 ⑥公共交通・道路 ⑦区・自治会等の役職  
⑧人口減少・少子化・高齢化 ⑨防災・消防 ⑩入区・移住者の受入  
⑪デジタル化 ⑫その他（ ）

7 日々の暮らしの中で、心配ごとがありましたらご記入ください。

[ ]

8 市政に関して、もっと詳しく知りたいことがありましたらご記入ください。

[ ]

**ご意見・ご提言【記入任意】**

茅野市が進める取組、市政に関すること、地域に対する想い、まち懇での内容など、ご意見やご提言がありましたら自由にご記入ください。

※ご意見・ご提言でお返事が必要な方は、内容について問い合わせする場合がありますので、正確に、お名前・ご住所・電話番号のすべてを、ご記入ください。

※回答が必要な方は、こちらにチェックをお願いします →  回答が必要

住所： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_ 電話番号： \_\_\_\_\_

(上記が未記入の場合は、回答出来かねますのでご了承ください。)

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。お帰りの際に、受付にご提出ください。